

事業番号	382
------	-----

平成26年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	市民センター施設管理事業						担当部	教育委員会事務局		
	会計区分	一般会計			事業類型	法定受託系	担当課	味岡市民センター			
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	庶務係		
	総合計画 分野別計画	主目的	4 教育文化		16 生涯学習		2 学習活動を支援します				
		副目的									
	予算区分	款	10	項	5	目	2	大	7	中	2
	根拠法令・個別計画	小牧市公民館の設置及び管理に関する条例									
	目的 (対象をどの様な状態にするのか)	当センターが地域に密着した拠点としての機能を維持していくため、安全性、利便性などの面において適法および適切な施設管理を行っていく。									
	内容 (手段)	<p>◆25年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物及び設備に関する業務委託や法定点検について、契約、点検・報告書の確認、支払事務を行った。 ・コピー機、FAX複合機、駐車場等の借上げについて、契約、支払事務を行った。 ・舞台吊物装置取替修繕(22,680千円)、舞台照明設備ボーターケーブル取替修繕(5,250千円)、舞台音響設備アンプ取替修繕(1,029千円)、冷温水発生機修繕(2,993千円)外19件の小額な修繕を行った。 <p>◆25年度直接経費の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品、光熱水費(18,429千円) ・修繕料(34,700千円) ・施設管理、設備保守管理、舞台管理等委託料(32,378千円) ・駐車場用地等借上料ほか(6,879千円) <p>◆25年度その他財源の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館使用料 7,670千円 ・消防職員駐車場利用負担金 390千円 <p>◆26年度直接経費の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品、光熱水費等(19,155千円) ・修繕料(12,500千円) ・施設管理、設備保守管理、舞台管理等委託料(36,554千円) ・駐車場用地等借上料ほか(5,999千円) 									
	受益者負担	有 公民館使用料 7,669,755円									

		単位	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	59,330	56,871	92,386	74,208	
		正職員	従事者数	人	0.50	0.50	0.50	0.50
			人件費	千円	2,630	2,630	2,630	2,630
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計	千円	61,960	59,501	95,016	76,838		
対前年比	%			96.0	159.6	80.8		
財源	一般財源	千円	54,166	51,794	86,956	69,105		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	7,794	7,707	8,060	7,733		

業	活動指標名	単位		H23	H24	H25	H26
	績	清掃及び警備等日数 (開館日)	日	目標	356	361	360
実績				362	361	360	
昇降機保守点検		回	目標	12	12	12	12
			実績	12	12	12	
舞台照明、舞台音響及 び舞台機構点検		回	目標	5	8	8	8
			実績	8	8	8	
成果指標名	単位		H23	H24	H25	H26	
施設利用者件数	件	目標	3,900	3,900	4,100	4,100	
		実績	4,064	4,076	3,960		
施設利用者数	人	目標	120,000	120,000	120,000	118,000	
		実績	117,196	118,731	107,608		

事業の自己評価	平成25年度の事業の達成状況	当センターが機能を維持していくため、適法及び適切な施設管理を行った。また、維持管理上、必要な修理等を行った。施設利用者数・利用者数ともに減少しているのは、25年1・2月の2ヶ月間、改修工事のため講堂が休館中であったことが主な要因である。		
	事業実施における課題	施設設備等の老朽化に伴い、突発的な故障や不具合が発生し、緊急を要する修繕が増加している。		
	事業を縮小・廃止したときの影響	施設の安全管理が不十分となり、利用者に影響を及ぼす重大な事故を招く恐れが出る。		
	平成26年度の改善内容	26年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	施設設備等の改修・更新を計画的に実施し、より快適に利用してもらえよう、さらにその保全に努める。	
	平成27年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)
	判定理由	市民センターの機能を維持し、市民に安心して利用していただくために、施設管理は必要不可欠である。また、各種設備の保守点検については、業務委託により効率的に実施している。		
	27年度以降の改善案	施設・設備の老朽化に伴い緊急を要する修繕費の増大が見込まれるため、計画に沿った改修や機器等の更新を進め、その長寿命化を図っていく。		

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。 指定管理者制度の導入について検討されたい。